



施工例紹介



「自然」を感じられる家

室内に

小型犬と人が



TOPIC 1 中庭は屋内にしながら外を感じることができる場所

リビングに併設して中庭を作ることによって、室内にしながら季節を感じることができます。回遊型になっているので、ドッグランとしても利用可能。飼い主さんがお散歩に行けない日も、この中庭を開放することで愛犬のストレスを解消できます。



リビングに面した大きな窓からはたっぷりの明るい光、そして四季の移ろいを感じることができる中庭が見えます。この中庭で愛犬は思う存分に走り回ることができ、とてもうれしそうです。今回ご紹介するのは、敷地内にしながら自然を感じることができる、愛犬にも飼い主さんにも理想的な家。開放感を感じるような工夫を教えてくださいましょう。😊

TOPIC 2 お外から帰ったらすぐに足を洗いましょう

外から中庭に入る門扉。屋根付きの廊下をまっすぐ進むとそこに水栓があります。愛犬との散歩後は、玄関を通らず、中庭から室内へ通り抜けられると便利。そこに水栓があれば、雨天時でもゆっくり足を洗ってあげられるので、なお便利です。



TOPIC 3 開放的な大きな窓は採光に最高

吹き抜けのリビングに設置した大きな窓からは、たっぷりの自然光が降り注ぎます。吠えやすい犬種には逆効果となりがちですが、中庭に面しているため、外部からの刺激が受けにくい作り。夏は暑くなりすぎないよう、断熱性の高い製品を選びましょう。



TOPIC 5 ドッグスペースは人の気配が感じられる場所へ

来客時、または落ち着いてほしいときなど、愛犬が一時的に過ごすためのスペースをリビングの一角に作っています。愛犬のトイレも、飼い主さんの洗面所の近くに。馬鹿々々しすぎず、人の気配が感じられるような場所が犬は落ち着くようです。



TOPIC 4 ペットと暮らす際の悩み全方位をクリアした床があるんです

愛犬が歩きやすい優しい床は、予防医療の観点からも大切です。このフローリングは、「N グリップフィルム」を採用。防滑性があり歩きやすいのはもちろん、さらに耐傷性、耐アンモニア性にも優れています。汚れも落としやすいので飼い主さんにとってベストな床です。